



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

CITATION:

質疑應答. 地球 1929, 11(1): 83-84

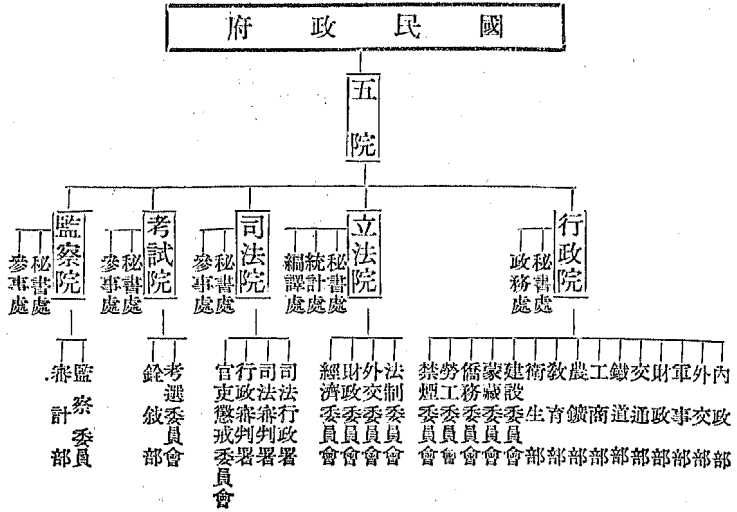
ISSUE DATE:

1929-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183537>

RIGHT:



質疑應答

問 土耳其煙草的特質

丹波 愛 烟 生

答 優良なるオリエント煙草の產國として世間に認められてゐるのは、土耳其及希臘のみで其他の國は中等品以下の煙草を産するに過ぎない。トルコに於ける上等煙草の產地は黒海沿岸のサムソン、パフラ重に地中海岸のスマイル、マゲネシー、メンテシ三縣で、前者は產地名によりて、サムソン煙草、パフラ煙草といひ、後者は一般にスマイルナ煙草といふ。サムソン、パフラ煙草平均一個年の生産量四百萬乃至五百萬担、スマイルナ煙草同千五百萬乃至二千萬担各產地を通じて現在の生産の二倍に増加する栽培地積がある。

希臘の上等煙草は舊土領東マケドニア、及西部スレーズで前者はカワラ、後者はクサンチーを中心地とする、その名によりカワラ煙草、クサンチー煙草と呼ぶ。土耳其領時代にカワラは一年生産量一千萬乃至千五百萬担、クサンチー煙草は五百萬乃至六百萬担であつたがその後希臘となり、經驗ある土耳其人栽培業者が續々小亞細亞方面に移住し、マケドニア地方の如きは之が補充に苦んでゐる。従つて希臘は今日では土耳其の爲に恐るべき競争者でない。

上等トルコ煙草は米國に向けられ毎年スマイルナ煙草八百萬乃至一千萬担、サムソン、パフラ煙草三百萬乃至四百萬担を輸入する。米國の外獨逸、英國、埃及、瑞西及其他諸國の專賣局も亦トルコ煙草の常顧客である。獨逸は主としてスマイル

ナの上等を買入し、これに勃爾牙及米國産を混入する。スミルナは口當りよく燃焼し易く且つ香氣がよい。

埃及の烟草工場は好でトウズジエ、ヘンデク、イスミツドグエネン、トレビソンド、アルトヴィン地方産の烟草、何れもスミルナよりも葉が少しく硬く、味は強いが、口當りのよい燃焼しやすい品であるが之をスミルナに混入する。所謂オリエント烟草中その産地によりて、上中下に分つと左の如くなる。

上等品産地

トルコの サムソン、バフラ、スミルナ
露西亞の ソグニ

希臘の 東部マケドニア、西スレース

中等品産地

トルコ。トレビソンド、アルトヴィン、チャルシヤンパン
シブ、ケレースドウズジエ、ヘンデク、ケネン
アルツサ、イスミツド

勃爾牙。シエーフ、ジュエマー、エグリデレ、ギルジャ、ジュマイ、バラ、ネオコロブ

希臘。多島海諸島、ラリツサ、グロツサ
ロシヤ。クリミア半島、ヤルタ

羅馬尼亞。ベツサラビア

普通品産地

トルコ。アルツサ、イスミツド、スレース、ホルー
勃爾牙。フイリツボボリ、クシヤカラク
ユーゴ。ウスキユープ

下等品産地

トルコ。セザレ
勃爾牙。フイリツボボリ平原及ワルナ

ギリシヤ。ラリツサ、グロツサ以外の舊領各地

羅馬尼亞。ベツサラビア以外の各地

普通品は東方地中海沿岸の所に産し、栽培とその取扱に何等の技術を要せず、故に極めて安價で需要も多い上オリエン

ト烟草の中トルコ産は六〇％である。一體に小亞細亞地方は

地味頗る豊饒で、烟草に必要な養分にとみ、殆ど肥料が入ら

ぬ。大氣は常に過度に乾燥してゐないから作業が容易である

就中スミルナ地方は夏季の到来早く、雨量少く、氣溫高きた

め收穫乾燥荷作り梱包等の作業が極度に安値に出来る、これ

は日本のやうな多雨の國では想像の出来ぬ天恵である。従つ

てその色合、風味香氣等に於て他國の追従を許さない。猶又

栽培人は多年の經驗で他國人の及び得ない優秀の技術をもつ

蓋し氣候、地質、技術の根本的三要素が具備してゐる。

又トルコにて烟草の發展に資する一原因はそこに栽培制限の

制度がよく行はれてゐるからである。現に輸出向烟草の栽培

地積の如きは適地積の十分一にすら該當しない。外の國で

はかうはいかぬので動もすれば生産過剩に悩まされる。強味

烟草は肺にわるい、口當りのよい軟烟が人體に無害であるか

ら、當今では専ら軟烟草が尊重される。トルコ烟草の軟味の土

培地は廣く年生産三千萬担に達する、トルコ烟草の軟味の土

等はサムソンである、タシオラ、スミルナこれにつぐ。世界

にサムソンと同質のものを生産する土地は何所にもない。タ

シオラはいかなる上等烟草と混合しても工合がよい中性のも

ので紙巻としても容積が相當に大である。今日全世界を通じて

紙巻烟草が豫想外の好況を呈してゐるのは、全くトルコ烟

草を使用する結果であるとされてゐる。(F)